

デロイト トーマツ アクト株式会社

貸借対照表

2024年5月31日現在

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
【流動資産】	2,719,750	【流動負債】	2,006,073
現金及び預金	702,798	未払金	608,036
未収入金	55,252	未払費用	51,044
業務未収入金	1,949,173	前受金	3,965
前払費用	11,901	短期借入金	969,000
立替金	623	預り金	71,803
		賞与引当金	536
		未払消費税等	296,017
		未払法人税等	5,669
【固定資産】	508,341		
有形固定資産	49,534	【固定負債】	48,712
建物及び附属設備	32,947	退職給付引当金	23,272
器具備品	16,587	資産除去債務	25,440
無形固定資産	388,783		
営業権	388,783		
		負債合計	2,054,785
投資その他の資産	70,023	【純資産の部】	
差入保証金	58,451	【株主資本】	1,173,306
繰延税金資産	373	資本金	10,000
その他	11,197	資本剰余金	1,600,000
		資本準備金	800,000
		その他資本剰余金	800,000
		利益剰余金	△ 436,693
		利益準備金	2,930
		繰越利益剰余金	△ 439,623
		純資産合計	1,173,306
資産合計	3,228,091	負債・純資産合計	3,228,091

(注)当期純利益 213,675 千円

デロイト トーマツ アクト株式会社

個別注記表

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法

ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び附属設備	15年
器具備品	6年

(2) 無形固定資産

定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

営業権	5年
-----	----

2. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

業務未収入金、立替金等債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。なお、当事業年度末は回収不能見込額が発生しなかったため、引当金残高はありません。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用は、発生した期に一括処理しております。

(3) 賞与引当金

職員の賞与支給に備えるため、支給見込額のうち当会計年度負担額を計上

しております。

3. 収益の計上基準について

主要業務であるシステム構築等コンサルティング業務については、当該業務の提供に応じて、一定の期間にわたり履行義務が充足される取引と判断しており、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識しております。また、作業報告書の承認時等の一定時点で履行義務が充足される取引については、当該時点で収益を認識しております。